

引っ越しの異動手続きがカンタン! ベンリ!

窓口での申請手続きが 事前にできる!

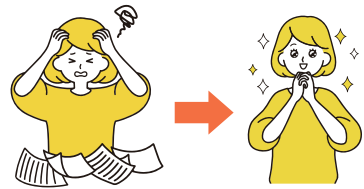
年間1万件を超える住所異動手続きが行われる浦添市。今までの住所異動は、同じ情報を何回も手書きで記入するなどの作業が必要でした。このような来庁者の負担軽減を図るため、市役所窓口に来る前に、スマホやパソコンで受付票を作成できるようになり、異動届も電子タブレットで確認・サインをするだけの簡単な手続きになりました。



事前申請システムを使うと、こんなに便利♪



スマホ・パソコンから※1
24時間申請準備ができる



窓口での大変な※2
記入作業がなくなり時間短縮!



電子サインでOK! ※3

- ※1 毎月第3週の木曜日の午後9時～翌朝午前8時は、メンテナンスのため利用ができません。
- ※2 事前申請システムで手続きが完了するわけではありません。必ず窓口で確認、サインなどの手続きを行ってください。
- ※3 手続きに必要な書類は、下記の「利用方法」で紹介する事前申請または市ホームページで確認できます。

利用方法



スマートフォンで二次元コード(ページ右下)を読み取り、異動者情報を登録します。



簡単な質問に答えしていくと、最後に暗号化された二次元コードが作成されます。



市民課窓口の読み取り機に二次元コードをかざします。順番が来たら窓口の職員に異動内容を伝えます。



異動届の内容に間違いが無ければ、タブレットにサインをして手続き完了! 必要な書類があれば申請書も一緒に作成します。

利用者の声

窓口での記入がなく、
すぐに受け付けすることができました。

転出のため、必要な手続きについて調べようと浦添市のホームページを検索しました。そこには事前申請システムについてのお知らせがあり、試してみようと思いました。実際に利用してみると、簡単な質問に従って入力できたので、難しくありませんでした。窓口での記入がなかったため、すぐに受け付けすることができました。



高良 智子さん

事前申請はこちら

事前申請の方法は下記の2パターン

①スマホを使用する場合
右記の二次元コードを読み取ってください。



②パソコンを使用する場合

浦添市 事前申請 で検索!

問市民課 ☎(876) 1283

「あったーまち」
浦添市の
復帰後、50年
沖縄本土復帰50周年記念特集



▲730のキャンペーン
キーホルダー



琉球政府時代の
母子手帳

アメリカ世でも、ウチナー世でも変わらない「母の愛」を感じさせてくれます。



沖縄の清涼飲料水

戦後、米軍統治下となった沖縄では、本土より先にコカ・コーラが民間市場に出ました。しかし、当時はとても高価な飲み物だったため、コカ・コーラより安価な清涼飲料水会社次々と参入してきました。



琉球切手

日本語で「琉球郵便」と印刷され、額面はアメリカ通貨である\$ (ドル) や¢ (セント) で記載されていました。琉球切手の人気は高く、外貨獲得にも大きな役割を果たしました。



100円硬貨
見本

ウイスキー
見本

沖縄国際海洋博覧会
EXPO'75'記念



九州・沖縄サミット記念
リカちゃん

復帰記念筆箱

復帰記念として日本政府から県内の小学生に贈られたのは、当時社会現象を巻き起こして人気だったスマイルマークの筆箱でした。



復帰の時って
なつかし～
こんなあったね!

あんやたん

沖縄庶民の生活用品も景色も大きく変化した時代



B円札

米軍から発行された、占領地で通用する独自の通貨。お札のみで硬貨はなく、1948年から約10年間使用されました。

手押し噴霧器

先端にある缶に、殺虫液を入れ、レバーを引いて押すと薬が噴射されます。当時、家のトイレはほとんどが汲み取りで各家庭に一つはありました。



〈A&W牧港店〉

1969年、県内2号店として開業。ドライブインに車で乗り付け、ウェイトレスが運んでくるアメリカンスタイルは県民の憧れでした。



〈ブルーシール牧港本店〉

米軍基地内限定で販売していましたが、1963年に牧港へ拠点を移し開業。写真の頃(1973年)にはすでにアイスの看板があったんですね。



〈マチナトボウル〉

沖縄本土復帰の1972年に開業。日本中がボウリングブームで、24時間営業し、たくさんの大会なども開催されました。

参加費
無料

中央公民館
日本復帰50年講座



場 所 各回 中央公民館 第1研修室
対 象 市内在住・在勤・在学
(主に日本復帰を体験していない人)
定 員 各回40人(対面20人、Zoom20人)

【第1弾】新聞アーカイブで
復帰の話がザックザク

復帰記念日の5月15日に関する新聞記事を読み解く。
〈日時〉5月14日(土) 午後2時～午後4時
※応募締め切り/5月11日(水) まで
〈講師〉大久保 謙氏(新聞イベントプロデューサー)、
関戸 塩氏(琉球新報社)

【第2弾】日本復帰を知ろう

屋富祖育ちの講師から話を聞き、
復帰を知るきっかけとなる講座。
〈日時〉5月22日(日) 午後2時～午後4時
※応募締め切り/5月19日(木) まで
〈講師〉宮城 能彦氏(沖縄大学人文学部教授)

浦添の復帰50年展



1970年から1971年の行政文書約20点を公開。また図書館が所蔵する復帰当時の写真15点をパネル展示します。

期 間 4月30(土)～5月29日(日)
場 所 図書館2階 ロビー